

事務事業名	雲南市飯南町事務組合負担金(FTTH整備事業)	所属部	総務部	所属課	情報システム課
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	システム運用・行政DX推進グループ	課長名	門脇 史明
施策名	〈11〉地域情報化の推進	担当者名	深田 貴之	電話番号	0854-40-1101
目的・対象	市民	意図	高度情報通信環境を利活用する。	(内線)	4700
基本事業	〈032〉情報通信環境の整備促進	予算科目	0:110:0:1	事業名	情報通信総務管理事業
目的・対象	市民	意図	情報通信環境を確保する。	中事業名	雲南市飯南町事務組合負担金(CATV事業)

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	1. 効率的な運営を行い、市民に地域の情報(自主番組等)、行政情報等を発信する。 2. インターネットの普及による情報格差是正
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R2 年度～ R5 年度)	雲南市及び飯南町における有線テレビジョン放送の効率的な運営を図るため、雲南市・飯南町事務組合を設置し、施設の設置及び維持管理並びに運営について、共同処理を行なっている。 令和2年度からは既存伝送路の更新(FTTH化)を実施した。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) FTTH宅内引込等工事・幹線撤去工事 ※令和2年度(全体設計) ※令和2年度繰越事業(FTTH幹線工事、吉田町・掛合町引込宅内等) ※令和3年度繰越事業(大東・加茂・木次・三刀屋町引込宅内等) ※令和4年度繰越事業(大東・加茂・木次・三刀屋町引込宅内等・旧幹線撤去)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・市町村合併により事務組合に統合 ・3局の制作、放送業務を木次局に集約 ・チャンネル構成、CS放送の一元化 ・ケーブルテレビ、文字放送使用料の統一 ・音声告知放送、文字放送の一元化 ・データ放送の導入、INTの一元化と増速 ・負担金の算定方法の見直し

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 加入者件数(全体)	件	12,331	12,137	12,003	
イ 加入者件数(事業者等を除く)	件	11,584	11,575	11,452	
ウ インターネット契約件数	件	3,487	3,544	3,535	
エ 更新数(V-ONU・D-ONU)	件	2,686	7,574	6,397	

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
令和4年度繰越・FTTH整備分 負担金816,564千円	財源内訳	国庫支出金	千円	998,176		
		県支出金	千円			
		地方債	千円	390,200	594,600	511,500
		その他	千円		120,000	305,000
		一般財源	千円		216	64
	事業費計	千円	1,388,376	714,816	816,564	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和2年度より市内全域におけるFTTH整備(FTTNからFTTHへ)を実施 ケーブルテレビ各局の放送設備の更新 民間参入のない地域も含め、高速通信環境の充実 ・デジタル田園都市国家構想において、令和9年度末までにFTTH人口カバー率99.9%の目標を達成。 ・GIGAスクール構想において、令和5年度末までに学校へのFTTH提供100.0%の目標を達成。
② 事業実施するうえでの課題	特になし
③ 課題解決に向けた改革改善等	人口減少・世帯減少が続く、ケーブルテレビへの加入者世帯が減少しつつあるが、本事業の実質スタートの令和3年度以降、インターネット加入率は徐々に回復傾向にある(令和3年度末28.3%→令和5年度末29.5%)。 今後、テレビ・インターネットとも、加入者獲得に向けた取り組みを行う必要がある。